

町内小学校に書画カメラ贈呈

11月1日、(一社)熊本県産業資源循環協会青年部会から町内小学校6校へ書画カメラが贈呈されました。当部会は3年前、熊本地震における災害ゴミ仮置き場でのボランティア活動や復興夏祭りへの支援等を行っています。今回このような御船町とのつながりもあり、本贈呈に至りました。野原浩史部会長は「全国からいただいた義援金で購入しました。子どもたちのために使っていただければ」と話し、代表で受け取った御船小学校の中野浩幸校長は「教材だけでなく、さまざまものに活用していきたい」と話しました。



中野校長に贈呈した野原部会長(右から3番目)

小坂小学校が地域で稲刈り体験

11月1日、小坂小学校(高森康裕校長・227人)の5年生41人は、徳永廣敏さん(陣)の田んぼで稲刈り体験しました。5年生は、今年の7月に徳永さんの指導で田植えを行い、それから4ヵ月の間、稲の成長を見守ってきました。子どもたちは、鎌を使い、役割分担しながら丁寧に稲刈り。徳永さんは「今年は、コンバインが止まるくらいよく育っている」と笑顔で話しました。収穫した餅米は、同月24日に行われた小坂小の餅つき収穫祭で振る舞われ、おいしくいただきました。



1



6



4



5



2

1. 手刈りで収穫する児童 2.5.6. 笑顔で収穫 3. 役割分担をすばい作業で稲刈りする児童たち 4. 稲刈りを指導する徳永さん(右)と今野さん(左)

御船中卓球部が個人戦で13年ぶり優勝

11月2日、第43回上益城郡中学生学年別卓球大会が開催され、御船中学校卓球部の坂下翔麻くん(1年)が学年別個人戦で13年ぶりに優勝を果たしました。部員たちは、短い時間の中で練習を積極的に行い、工夫することで力をつけてきました。大会を終えて坂下くんは「優勝できてうれしかった。得意なフォアを磨き、技術面でも精神面でも強い選手になりたい」と抱負を語りました。入賞した3人は、毎週開催されているフネッピーでも、大人相手に日々練習中。「フネッピーでも一緒に卓球を楽しみましょう」と笑顔で呼びかけていました。



▲(左から)準優勝の春田蒼依さん、3位の清水颯太郎くん、優勝した坂下翔麻くん



第2回 データで見る 恐竜博物館の利用状況

Topic ①
恐竜博物館の
広さってどのくらい?

恐竜博物館の延べ床面積は1,974㎡。アンケートでは「小さい博物館」という感想を多くいただいています。例えば、福井県立恐竜博物館の15,000㎡、北九州市立いのちのたび博物館の17,000㎡と比べると、確かに小さい博物館です。

Topic ③
どのように
来館者を呼び込んでいるの?

博物館は常に多くの人を惹きつける取り組みを行わなければなりません。モンタナ州のロッキーマウンテン博物館等と連携して行っている調査・研究事業や、報道機関と連携して開催する特別展は大変効果的です。モンタナの恐竜化石のクリーニング作業にはたくさんの方が興味をもってくれます。特別展開催中はテレビや新聞での露出が桁違いに増え、約2ヶ月で6~7万人を御船町に呼び込むことができています。特別展のプロデュースはとても大変な仕事なので、開幕前は泊まり込みで作業することもしばしば。学芸員だけでなく、グラフィックデザイナーや資料技師も展示制作に携わります。会期中は1日の来館者が数千に上ることもあり、安全・快適に観覧していただくためには、受付の職員の的確な発券と案内が欠かせません。また、調査研究の成果を発表すると新聞やテレビで取り上げられ、来館者増に大きな効果をもたらします。



▲平成29年度特別展開開式でのテープカット

Topic ⑤
恐竜博物館
にはどのような
利用方法があるの?

博物館の利用方法は展示を見るだけではありません。地域のことを知り、自らの生活の役に立てることもできます。恐竜博物館は教育にも力を入れていて、延べにすると年に約3,000人が講座に参加します。夏休みの宿題の相談をしたい小学生や、将来の進路について情報を得たい中学生や高校生、私たちと一緒に博物館の活動に取り組みただけの大人も大歓迎。学芸員は、2階のオープンラボで仕事をしていますので、気軽にお声かけください。

池上直樹の 恐竜 そうだったのか!!

- 最近、何かと話題となっている恐竜や博物館。
- 恐竜博物館の池上博士が最近の恐竜事情についてわかりやすく解説します。
- 今回は恐竜博物館の利用状況を詳しく紹介。
- 他の博物館とも比較しながら見ていきましょう。

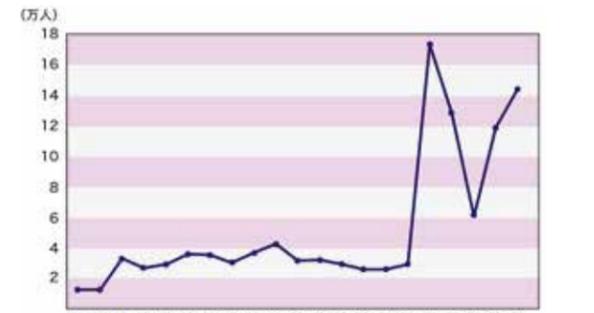


Topic ②
来館者数は
どうなっているの?

福井県立恐竜博物館は、平成27年度に93万人を記録。県立博物館としては第1位です。

来館者数を延べ床面積で割った数値(来館者密度)は62となり、国立科学博物館と並んで高い数字となっています。では、御船町恐竜博物館はどうでしょうか?新館がオープンした平成26年度の来館者数は173,469人、平成30年度は144,480人でした。来館者数では福井県の恐竜博物館には遠く及びませんが、来館者密度は88、平成30年度でも73となり、福井県立恐竜博物館や国立科学博物館をも上回ります。御船町恐竜博物館は、「国内で最も混雑している博物館」という見方もできるわけです。

恐竜博物館は「子ども向け」と捉えられがちですが、来館者の半分は大人です。アンケートによると、県外からの来館者が約4割、最近では海外からの来館もあります。また、約4割がリピーターです。



▲御船町恐竜博物館来館者数の推移 平成(年度)

Topic ④
運営には
どのくらいの
経費が必要なの?

平成30年度の運営費は約6,500万円(人件費を除く)、それに対して歳入が6,900万円ありました。ちなみに福井県立恐竜博物館の運営費は8億4千万円、歳入が5億1千万円(平成27年度、人件費除く)とのことです(「第2恐竜博物館(仮称)に関する基本構想」より)。



▲博物館の講座の様子